

北海道釧路市立阿寒中学校

(概要)

- ・ 児童数（クラス数）：115名（4クラス）
- ・ 構造・階・面積・事業費：鉄筋コンクリート造、2階建て、2,953㎡、約7億円
- ・ エコスクールの事業タイプ：木材利用型
- ・ 整備期間：（検討期間：H18.5～H18.12、工事時期・期間 H20.5～H21.3）
- ・ 要旨

釧路市は、北海道の東部、太平洋岸に位置し、「釧路湿原」、「阿寒」の二つの国立公園をはじめとする雄大な自然に恵まれた街であり、同時に豊富な森林資源を有することから、地元木材の有効活用を推進し、木のぬくもりの溢れる校舎を計画した。

(エコスクール化の内容)

- ・ エコスクール化の整備内容

→多目的スペース・技術室・普通教室など校舎の内装（床・壁等）、音楽堂の床等の木質化を図った。

- ・ エコスクール化に当たり配慮した建築的工夫

→地元木材をふんだんに活用することはもちろん、学校のある阿寒地区は「丹頂鶴」越冬地としても知られているため、そのモニュメントを設置し、生徒及び地域住民から親しみを持たれるように工夫した。

- ・ 検討の際に課題となった点

→木材のため傷が付き易いが、表面塗装をクリアにすることにより木目と同化させ目立たないように配慮した。また、傷が付き易い性質を生徒に理解させ、壁等の木材を大切にす道徳教育に力を入れている。
また、価格が割高なことがネックであったが、低価格の樹種を選定することによりコストダウンを図った。



親しみを持たれるよう地元木材を活用した「丹頂鶴」のモニュメントを作成。

(環境・エネルギー教育への活用)

- ・ 学年や教科等ごとに、授業等で実際に活用している状況

→総合的な学習の時間の中では、「阿寒の自然を調べよう」をテーマに地域の自然や環境について学習を行っており、その自然環境を体感するため競歩遠足も併せて実施している。

「鶴」が取り持つ縁で例年実施している鹿児島県出水市の荘中学校・高尾野中学校との交流事業の際にも丹頂鶴のモニュメントは好評であった。

木のぬくもりを感じられる落ち着いた環境の中、総合的な活動、行事の準備等に活用されている。

- ・ 地域の環境・エネルギー教育、意識向上に役立っている状況

→『「できることから」エコ活動』をテーマとし、全校生徒で地域環境・意識向上に向け、環境ISO活動を発展させている。



(総合的な学習の時間「阿寒の自然を調べよう」の事前学習風景。)



(総合的な学習の時間「阿寒の自然を調べよう」の一環の競歩遠足風景。)



(「鶴」を縁に交流している出水市の中学校との記念写真。モニュメントの評判は上々。)



(地域住民と協力し『「できることから」エコ活動』の資源物回収事業。)